

Leçon 3



ポイントはマーカーでチェックしておきましょう。



チェックのところは、モニターを見ながら書き込みをしましょう。

Leçon 3 メニュー

1. 所有形容詞
2. 前置詞と定冠詞の縮約
3. devoir の直説法現在

【自律学習コーナー】(授業時間外にする部分)

1. 所有形容詞 (続き)
2. 形容詞の性と数 (2)
3. 否定文 (2)

1. 所有形容詞

所有形容詞の形

「私の」「あなたの」「彼の」などの所有をあらわす形容詞について見てみましょう。

		所有される対象			
		+ 男性単数 名詞	+ 女性単数 名詞	+ 複数名詞	英語
所有者	je	_____	_____	_____	my
	tu	_____	_____	_____	your
	il/elle	_____	_____	_____	his / her
	nous	_____		_____	our
	<u>vous</u>	_____		_____	your
	ils/elles	_____		_____	their

所有形容詞の使い方



どの所有形容詞を使うかは、所有者の人称と数、所有される対象の性と数によって決定されます。たとえば、「私の」、「私たちの」と言いたいときは？



「私の」、「私たちの」

所有される対象				
	+ 男性単数名詞	+ 女性単数名詞	+ 複数名詞	
所有者	_____ livre	_____ table	_____ livres	_____ tables
単数	私の本	私の机	私の本	私の机
所有者	_____ livre	_____ table	_____ livres	_____ tables
複数	私たちの本	私たちの机	私たちの本	私たちの机

mon amie はニューハーフ？



既に見たように、所有形容詞は所有者の性に一致するのではなく、所有される対象の性に一致します。ということは mon amie で使われている mon を使うのは男性の単数名詞に対してですね。

ところが amie は「女性の友達」です。これはどうしたことでしょうか？

実は、これは「所有形容詞は所有される対象の性に一致する」という規則の例外なのです。つまり、ma, ta, sa は母音字または無音の h の前では、mon, ton, son となるという例外的な規則が適用されています。したがって、mon amie は「私のガールフレンド」という意味です。

確認練習：L3-1-1； 確認練習：L3-1-2

所有形容詞の使い方

「きみの」「あなたの」などと言いたいときには、どのように言えばいいのでしょうか？



「きみの」「あなたの」「きみたちの」「あなたがたの」

所有される対象				
	+ 男性単数名詞	+ 女性単数名詞	+ 複数名詞	
所有者	_____ livre	_____ table	_____ livres	_____ tables
単数	きみの本	きみの机	きみの本	きみの机
所有者	_____ livre	_____ table	_____ livres	_____ tables
複数	あなたがたの本	あなたがたの机	あなたがたの本	あなたがたの机

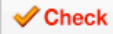


ton と votre の使い分け

主語として使われる tu・vous と同じような違いがあります。

所有者が単数の場合は、親しい間柄の人には _____・_____・_____を、あまり親しくない人には_____・_____を使います。

所有者が複数の場合は、親しさに関係なくいつも_____・_____を使います。



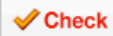
votre と vos の意味は？

主語として使われる vous と同じですが、単数（「_____の」）の意味でも、複数（「_____の」「_____の」の意味でも使われます。

確認練習：L3-1-3； 確認練習：L3-1-4

所有形容詞の使い方

「彼(女)の」、「彼(女)らの」と言いたいときには、どのように言えばいいのでしょうか？



「彼(女)の」、「彼(女)らの」

所有される対象

	＋男性単数名詞	＋女性単数名詞	＋複数名詞	
所有者	_____ livre	_____ table	_____ livres	_____ tables
単数	彼(女)の本	彼(女)の机	彼(女)の本	彼(女)の机
所有者	_____ livre	_____ table	_____ livres	_____ tables
複数	彼(女)らの本	彼(女)らの机	彼(女)らの本	彼(女)らの机



所有形容詞は、所有者の性に一致するのではなくて、所有される対象の性に一致します。ですから、所有者が３人称単数の場合に用いる son, sa は his, her の区別をあらわしているのではなく、男性単数名詞には_____を、女性単数名詞には_____をつけます。

son mari （男性単数名詞） sa femme （女性単数名詞）

her husband

his wife

彼女の夫

彼の妻

確認練習：L3-1-5； 確認練習：L3-1-6

所有形容詞の復習

		所有される対象			
		+ 男性単数名詞	+ 女性単数名詞	+ 複数名詞	英語
所有者	je	mon	ma	mes	my
	tu	ton	ta	tes	your
	il/elle	son	sa	ses	his / her
	nous	notre		nos	our
	vous	votre		vos	your
	ils/elles	leur		leurs	their

 **Point** 規則性があるのに気づいたかな？

所有者が単数で、所有されるものが男性単数名詞の場合は - _____, 女性単数名詞の場合は - _____, 複数名詞の場合は, - _____ になっているね。

また, 「私の」は _____-, 「きみの」は _____-, 「彼の・彼女の」は _____- になっているよね。

確認練習 : L3-1-7 (Exercice 1)

2. 前置詞と定冠詞の縮約

前置詞の à と de は, その後に定冠詞の le または les がくると, 定冠詞と合体します。この現象を「前置詞と定冠詞の縮約」と呼んでいます。

 **Check** 前置詞 à と定冠詞の縮約

à + _____ café → _____ café

à + _____ cafés → _____ cafés

確認練習 : L3-2-1

 **Point**

1) à の後に定冠詞の le または les が来ると, 二つは必ず合体してそれぞれ au, aux になる。

à + le → _____

à + les → _____

 **Check** à の意味は？

前置詞 à は, 「... _____, ... _____」という意味でおもに時間や場所を表す時に用いられます。英語の to や at の用法に似ています。

 Check à la, à l' は変化しない！

縮約が起こるのは、à の後に定冠詞の _____, _____ が来る時だけです。

定冠詞の la, l' が来る時には合体しません。

à la maison à l'appartement

確認練習：L3-2-2； 確認練習：L3-2-3； 確認練習：L3-2-4 (Exercice 2)

 Check 前置詞 de と定冠詞の縮約

de + _____ cinéma → _____ cinéma

de + _____ cinémas → _____ cinémas

 Point

2) de の後に定冠詞の le または les が来ると、二つは必ず合体してそれぞれ du, des になる。

de + le → _____

de + les → _____

 Check de の意味は？

前置詞 de は、「... _____, ... _____」という意味で用いられます。英語の of や from の用法に似ています。

 Check de la, de l' は変化しない！

縮約が起こるのは、de の後に定冠詞の _____, _____ が来る時だけです。

定冠詞の la, l' が来る時には合体しません。

de la maison de l'appartement

確認練習：L3-2-5； 確認練習：L3-2-6； 確認練習：L3-2-7 (Exercice 3)

3. 動詞 devoir の活用

 Check 動詞 devoir の活用

je _____ tu _____ il/elle _____

nous _____ vous _____ ils/elles _____

 Point

単数人称 (je, tu, il / elle) の活用語尾は、おおざっぱにいうと二種類あります。-e -es -e 型と -s -s -t 型です。-e -es -e 型はおもに -er 規則動詞です。それ以外の動詞はおもに -s -s -t 型です。devoir は -s -s -t 型です。複数人称 (nous, vous, ils / elles) の活用語尾は一種類しかありません。例外はありますが、-ons -ez -ent です。

確認練習 : L3-3-1

自律学習コーナー

1. 所有形容詞 (続き)

まず、モデルの後について発音して、次の単語を覚えましょう。

les parents	le père	la mère	les grands-parents	le grand-père	la grand-mère
両親	父	母	祖父母	祖父	祖母
l'enfant	le fils	la fille			
子供	息子	娘			

確認練習 : L3-1-1 (Exercice 1) (自律学習)

2. 形容詞の性と数 (2)

いろいろな女性形

形容詞の女性形をつくるにはふつうは男性形に e をつけばいいのですが、次のような女性形もあります。

男性形	女性形	例
1) -e	→ そのまま	jeune → jeune
2) -er	→ -_____	léger → lég_____
	-et → -_____	complet → compl_____
3) -eux	→ -euse	heureux → heur_____
4) 語尾の子音字を重ねるもの		
-el	→ -_____	naturel → natur_____
-en	→ -_____	ancien → anci_____
-on	→ -_____	bon → bo_____



不規則な女性形を持つ形容詞

次のように不規則な女性形を持つ形容詞もあります。

blanc → blanc_____ (白い)

frais → fra_____ (冷たい, 新鮮な)

faux → fau_____ (間違った)

long → long_____ (長い)

先生, 質問!

1. 語尾が-et の形容詞も-ette になるのですか?

-ette になる場合もありますが, そうでない場合もあります。

語尾が-et の場合

1) -ette : net - nette (はっきりした)

2) -ète : complet - complète (完全な)

concrète (具体的な)

discrète (控えめな)

inquiète (心配している)

secrète (秘密の)

というわけで, 語尾が -et の場合の女性形は, -ète となることのほうが多いようだね。

確認練習 : L3-2-1 (自律学習); 確認練習 : L3-2-2 (Exercice 2) (自律学習)

2. 不規則な女性形を持つ形容詞は 4 つしかないのですか?

残念ながら, 実はそうではないんだ。先に見た 4 つの不規則な女性形を持つ形容詞も含めて, もう少し覚えておくといいですね。

blanc - blanche (白い) franc - franche (率直な)

sec - sèche (乾いた) frais - fraîche (新鮮な)

public - publique (公の) grec - grecque (ギリシアの)

faux - fausse (間違った) roux - rousse (赤茶色の)

doux - douce (甘い)

long - longue (長い) attentif - attentive (注意深い)

vif - vive (生き生きした) sportif - sportive (スポーツ好きな)

確認練習 : L3-2-3 (自律学習)

3. 否定文 (2)

いろいろな否定文

pas のかわりに, plus, jamais, personne, rien が用いられることもあります。



- 1) ne ... _____ → 「もう...ない」
- 2) ne ... _____ → 「決して...ない」
- 3) ne ... _____ → 「誰も...ない」
- 4) ne ... _____ → 「何も...ない」
- 5) ne ... _____ A _____ B → 「A も B も...ない」
- 6) ne ... _____ → 「...しか...ない」



Elle n'est _____ étudiante.
 彼女は_____学生ではありません。
 Il ne danse _____.
 彼は_____ダンスをしません。
 Nous n'aimons _____.
 私たちは_____好きではありません。
 Je ne mange _____.
 私は_____食べません。
 Je ne suis _____ étudiant _____ professeur.
 私は学生_____教師_____ありません。
 Je n'aime _____ le cinéma.
 私は映画_____好きではありません。



plus, jamais, personne, rien を用いたならば, _____を入れないように注意しましょう。

× Nous n'aimons _____ personne.

× Je ne mange _____ rien.

「A も B も...ない」(neither A nor B) と言いたいときには ne ... ni A ni B の構文を用います。



Je ne suis _____ étudiant _____ professeur.
 訳：私は学生でも教師でもありません。
 ne ... que は「...しか...ない」という意味になります。



Je n'aime _____ le cinéma.
 訳：私は映画しか好きではありません。